

情報公開文書

S26-47

研究課題名	脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究
研究期間	2013年 4月 1日 ~ 2016年 3月 31日
研究の目的と意義	本邦の脳卒中診療中核施設の施設要件、質的評価を行ない、地域格差を考慮した適正な配置を行なうについての提言のためです。
研究方法	脳卒中患者のDPCデータ（診療情報）より、データベースを作成し、脳卒中診療の実績などを調査します。
個人情報の保護、 研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	<b>【研究責任者】</b> 京都第二赤十字病院 脳神経外科 部長 天神 博志 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)